

第 52 回テーマ

柔軟な対応力をつける

先日のニュースで韓国の GDP が約 8.7%成長を遂げているという。良く調べると、先進国の中で日本だけが成長スピードが鈍化している。特に景気浮揚があまり感じられないのも、雇用と賃金の問題があるからだ。内需の需給ギャップが埋まらない限りは、生活の中で体感できるまで時間がかかるだろう。

それに合わせて総理大臣の交代劇があった。政局で問題なのは、ムードが落ちるという点。メディアの責任もあると思うが、混迷する事でさらに不安感を募らせる人も少なくないのではなからうか？企業も個人も、さらに慎重に考え、行動する事は明らかだ。

とはいえ、子供手当を筆頭に、様々な政策が打ち出されてくるので、少しづつではあるものの変化が出てくるのではないか。マンションの売れ行きが好転している他、個人消費も回復している点が救いであろう。今、必要な事は、明確な戦略目標とスケジューリングである。

シンプルに「商品開発」「販路開拓」「人材育成」の3つに重点を置きながら、新たなビジネスモデルを構築していくべきだろう。コストダウン策については、手段は色々あるが、経営資源の配分には十分な配慮が必要であり、何度もリ・スケジューリングしていく必要があると思う。

地味であるが、継続して自力をつけていく事こそが、活路を見出す最短距離だろう。政局を含み、世界の流れをつぶさに観察しながら、顧客ニーズに対応すべく柔軟な体制を構築していく他、手はない。

中小企業にとっては、恐らく、2年先までどうなるか？わからない状況となっている。成長分野への参入、新規事業の立ち上げ等、課題は山積だ。そのベースにあるのは、社員を含む組織力強化という視点であろう。

現状を再度評価し直し、自社の強み・弱みを分析し、新たな道を作っていく事が大事な事ではなからうか。